



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハイパー
 コード番号 3054 URL <http://www.hyperpc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉田 宏一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 江守 裕樹 TEL 03-6855-8180
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日 配当支払開始予定日 平成26年9月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	12,842	29.7	497	346.5	492	365.8	300	445.2
25年12月期第2四半期	9,898	13.0	111	△14.3	105	△17.3	55	△33.6

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 301百万円 (459.8%) 25年12月期第2四半期 53百万円 (△36.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	145.57	140.28
25年12月期第2四半期	28.05	28.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第2四半期	6,345	2,083	32.7	1,001.90
25年12月期	6,620	1,776	26.8	869.09

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 2,072百万円 25年12月期 1,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	11.50	—	11.50	23.00
26年12月期	—	13.50	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	13.50	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	7.0	500	48.8	495	51.2	300	64.2	145.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期2Q	2,068,800株	25年12月期	2,039,400株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	－株	25年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期2Q	2,060,841株	25年12月期2Q	1,962,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては消費税の増税や海外景気の下振れにより国内景気が下押しされるリスクはあるものの、企業の設備投資の持ち直し等により、国内景気は引き続き回復基調で推移いたしました。

当社グループが属するコンピュータ販売業界におきましては、Windows XPのサポート終了に伴う切り替え需要が顕在化いたしました。

このような状況の下、当社グループは強みである在庫戦略を推進し、価格優位性を活かした在庫商品の販売に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は12,842,060千円（前年同四半期比29.7%増）、経常利益は492,195千円（前年同四半期比365.8%増）、四半期純利益は300,001千円（前年同四半期比445.2%増）となりました。

① 情報機器販売事業

Windows XPのサポート終了に伴う切り替え需要により、法人向けコンピュータ市場においては、商品の供給が一部不足する状況も見られました。当社グループは独自の在庫戦略によって商品の確保に努め、販売機会を逃すことなく販売台数を順調に伸ばし、売上高は10,226,792千円（前年同四半期比34.7%増）、営業利益は480,647千円（前年同四半期比289.2%増）となりました。

② アスクルエージェント事業

既存取引先の稼働促進や新規取引の拡大が順調に推移し、また、消費税増税前の駆け込み需要もあったため、売上高は2,615,267千円（前年同四半期比13.3%増）、営業利益は17,047千円（前年同四半期は営業損失11,828千円）となりました。

③ その他

その他におきましては派遣事業を行ってまいりましたが、平成25年3月以降同サービスに係る売上高は計上されておられません。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、5,952,394千円（前連結会計年度末は6,199,299千円）となり、246,904千円減少いたしました。商品が減少したことが大きな要因であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、393,592千円（前連結会計年度末は421,505千円）となり、27,913千円減少いたしました。無形固定資産が減少したことが大きな要因であります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、3,591,067千円（前連結会計年度末は3,979,658千円）となり、388,590千円減少いたしました。買掛金が減少したことが大きな要因であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債の残高は、671,144千円（前連結会計年度末は864,720千円）となり、193,576千円減少いたしました。長期借入金が増加したことが大きな要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ307,347千円増加し、2,083,774千円となりました。自己資本比率は26.8%から32.7%に増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月22日に「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想から、通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,445,884	1,494,360
受取手形及び売掛金	3,266,193	3,152,730
電子記録債権	272,587	491,780
商品	1,132,389	718,790
その他	90,702	103,430
貸倒引当金	△8,457	△8,697
流動資産合計	6,199,299	5,952,394
固定資産		
有形固定資産	38,062	44,503
無形固定資産	288,864	237,623
投資その他の資産		
投資有価証券	11,268	23,192
その他	161,274	160,028
貸倒引当金	△77,963	△71,756
投資その他の資産合計	94,579	111,464
固定資産合計	421,505	393,592
資産合計	6,620,805	6,345,986
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,263,732	2,297,585
短期借入金	-	450,000
1年内返済予定の長期借入金	436,003	387,408
未払法人税等	106,481	210,075
賞与引当金	45,551	56,293
その他	127,889	189,705
流動負債合計	3,979,658	3,591,067
固定負債		
長期借入金	848,661	654,957
その他	16,059	16,187
固定負債合計	864,720	671,144
負債合計	4,844,378	4,262,212

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	261,578	272,868
資本剰余金	234,672	245,932
利益剰余金	1,275,955	1,552,503
株主資本合計	1,772,206	2,071,304
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	216	1,426
その他の包括利益累計額合計	216	1,426
新株予約権	4,004	11,043
純資産合計	1,776,426	2,083,774
負債純資産合計	6,620,805	6,345,986

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年1月1日 至平成25年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成26年1月1日 至平成26年6月30日）
売上高	9,898,334	12,842,060
売上原価	8,748,835	11,225,956
売上総利益	1,149,498	1,616,103
販売費及び一般管理費	1,038,038	1,118,408
営業利益	111,460	497,695
営業外収益		
受取利息	146	356
受取配当金	559	451
広告料収入	309	800
その他	943	1,058
営業外収益合計	1,958	2,666
営業外費用		
支払利息	4,810	6,438
支払手数料	2,700	1,680
その他	250	47
営業外費用合計	7,760	8,166
経常利益	105,657	492,195
税金等調整前四半期純利益	105,657	492,195
法人税、住民税及び事業税	56,731	204,979
法人税等調整額	△4,629	△12,785
法人税等合計	52,101	192,193
少数株主損益調整前四半期純利益	53,556	300,001
少数株主損失（△）	△1,470	—
四半期純利益	55,026	300,001

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	53,556	300,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	248	1,210
その他の包括利益合計	248	1,210
四半期包括利益	53,804	301,211
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,274	301,211
少数株主に係る四半期包括利益	△1,470	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	105,657	492,195
減価償却費	46,685	54,321
貸倒引当金の増減額（△は減少）	9,142	1,290
賞与引当金の増減額（△は減少）	3,949	10,742
受取利息及び受取配当金	△705	△807
支払利息	4,810	6,438
株式報酬費用	588	7,039
固定資産除却損	250	—
売上債権の増減額（△は増加）	△791,794	△106,780
たな卸資産の増減額（△は増加）	223,594	412,836
仕入債務の増減額（△は減少）	685,016	△966,147
未払消費税等の増減額（△は減少）	3,613	84,832
その他	5,008	△20,980
小計	295,816	△25,019
利息及び配当金の受取額	704	620
利息の支払額	△4,801	△6,429
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△70,202	△102,599
営業活動によるキャッシュ・フロー	221,516	△133,427
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,000	—
定期預金の払戻による収入	54,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,450	△10,816
無形固定資産の取得による支出	△46,201	△4,317
投資有価証券の取得による支出	△55	△10,043
その他	△324	205
投資活動によるキャッシュ・フロー	969	△24,973
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△600,000	450,000
長期借入れによる収入	600,000	—
長期借入金の返済による支出	△128,697	△242,299
ストックオプションの行使による収入	—	22,549
配当金の支払額	△23,015	△23,374
少数株主からの払込みによる収入	1,470	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△150,242	206,876
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	72,242	48,475
現金及び現金同等物の期首残高	1,066,473	1,445,884
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,138,716	1,494,360

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報機器販 売事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,589,696	2,307,949	9,897,646	687	9,898,334	—	9,898,334
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,589,696	2,307,949	9,897,646	687	9,898,334	—	9,898,334
セグメント利益又は損失 (△)	123,484	△11,828	111,655	△195	111,460	—	111,460

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、派遣事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

のれんについては、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	情報機器販 売事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,226,792	2,615,267	12,842,060	—	12,842,060	—	12,842,060
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,226,792	2,615,267	12,842,060	—	12,842,060	—	12,842,060
セグメント利益	480,647	17,047	497,695	—	497,695	—	497,695

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

のれんについては、重要性が乏しいため、記載を省略しております。